

令和8年度土木部研修計画書

| | | | | | | |
|--|---|--|-------|---|--|---------------------|
| 研 修 名 | | 災害研修(現場実務) | | | | |
| 【参考】島根県土木技術職員 研修指針による研修区分 | | 主任以下必須研修 ・ 係長以上必須研修 ・ 選択研修 ・ その他 | | | | |
| 研修担当課名 | | 技術管理課 | 担 当 者 | 工事品質管理S 飯田 | | |
| 目 的 | | | | | | |
| 平成18年7月豪雨の災害経験から技術職員の災害復旧の対応能力の向上を目指し、平成19年度から災害研修を企画している。 近年多発する大規模災害に備え、県及び市町村職員を対象に、災害発生から現地調査、測量、計画、設計書作成、災害査定等一連の流れを体験学習し、基礎的な知識技術の習得を図る。 | | | | | | |
| 研修の重点項目 及び 変更点 | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市町村職員に配慮し、研修会場を松江、出雲、浜田の順でローテーションする。【R6は浜田地区、R7は松江地区で開催】 ・実習に重点を置き、受講生は班に分かれて災害査定の一連の作業を行うとともに、各班に指導員を配置し、きめ細やかな指導を行う。 ・ただし、新規採用職員等に対する個別研修(積算、CAD及び土木行政)を習得する場ではないことから、土木に関する基礎知識・技能を有する者を対象として実施する。 | | | | | | |
| 職種・対象者 (○を記入して下さい) | | | | | | |
| ○ I 県職員 | | I 技術職員 | | (具体的対象者) | | |
| ○ II 市町村職員 | | II 事務職員 | | <ul style="list-style-type: none"> ・土木に関する基礎知識・技能を有する者 ・土木部に新規配属され2年以上10年以内の職員 ・災害復旧事業を担当する県及び市町村の事務・技術職員 ・工事積算及び作図(CAD)業務未経験者は受講不可 | | |
| III その他() | ○ III 事務・技術職員 | | | | | |
| | | | | | | |
| ※指導を適確に行うため、受講者の人数に制限をします。(最大30名) | | | | | | |
| 研修予定人員(実人員) | | | | | | |
| 県 職 員 | | 市町村職員 | | 計 | | |
| 20 | | 10 | | 30 | | |
| ・3~4名/G × 6~7G = 最大30人 | | | | | | |
| 実施日 | 開始時刻 | 研修科目及び主な内容 | | 研修方式 | 講 師 | 場 所 |
| 6月3日(水) 1日目 | 9:40 10:00 10:10 11:40 12:00 13:00 16:00 17:00 | 受付 オリエンテーション 災害復旧工事の計画・設計 現地測量打合せ 休憩(昼食) 現地測量 査定図面の作成 1日目終了 | | 講義 演習 現場演習 演習 | 技術管理課 技管課・砂防課ほか 事務所指導員 事務所指導員 事務所指導員 | 出雲合庁_会議室 702,703 |
| 6月4日(木) 2日目 | 8:30 12:00 13:00 15:00 15:20 15:30 | 査定設計書の作成 休憩(昼食) 模擬査定 質疑応答 講評 研修終了 | | 演習 演習 | 事務所指導員 技管課・砂防課ほか | 出雲合庁_会議室 702,703 |
| (携行品) 災害手帳 作業服、ヘルメット、長靴、野帳等(現地調査用) 筆記用具、三角スケール、三角定規等(図面作成用) | | | | | | |